



# 第41号

発行・編集：福祉のネットワーク永山

事務局：(社福)多摩市社会福祉協議会

TEL：042-373-5616

令和3年6月

## 福祉のネットワーク永山だより

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

### 日ごろから複合災害に備える

#### 第3回 福祉のネットワーク永山定例会

##### 「感染症と防災」

日時 3月24日(水) 14時～16時

場所 ヘルプ永山ヘルプホール

講師 災害支援・防災教育コーディネーター  
宮崎 賢哉氏

新型コロナウイルス(covid-19)のような感染症が発生している時の避難所運営をどのようにしたらよいか、対応策や日ごろからの備えを講師である宮崎氏より講演いただきました。当日、貝取こぶし館とオンラインでつなぎ、勉強会を共有しました。

#### 講師の宮崎氏よりポイント

- ①災害時の感染症対策は生命や健康を守るための大切な備えだ。ひとりひとりの基本的な心構えが何よりも有効な対策になる
- ②避難所に行くだけが避難行動ではない。“死なない、生き残る”ための生存避難と“暮らす、生き抜く”ための生活避難を分けて考え、それぞれに応じた防災対策をしていくことが必要。



◆避難所や避難生活での対策  
コロナ禍での避難所については、受け入れの人数の制限等が必要になります。

右) 講師より  
紹介された  
サポートブック



◆在宅避難に伴う孤立化を防ぐ  
避難所に行かず自宅にとどまる場合はコミュニケーションが取りづらく、孤立化してしまう懸念も生じます。そこで自治会や団地では在宅避難者への支援が課題になります。社協の災害ボランティアセンターとの連携も大切です。

◆家庭内備蓄の活用  
お米、のり、パスタ、レトルト食品や缶詰のような日持ちする食品、野菜ジュース、果物の缶詰も不足しがちな栄養素を補うために大切です。



災害時のデマや差別は被害や混乱を拡大してしまいます。そこで感染症や防災対策に関する正しい知識が必要になります。様々な情報を読み解く防災リテラシーを高め、判断することが被害を阻止します。そのための情報を発信し続けることが必要です。

忘れたころにやってくるのが天災。「ふだんできないことは、災害時にもできない。そのとき何ができるかは、それまで何をしてきたか、による」ので、日頃から感染症と防災対策を考え、対策を措置し、訓練を繰り返すことが大切になります。

# まち歩き再開しました！！

# 地域活動のご紹介♪



▲若葉台公園へのまち歩き

まち歩きはコロナでの外出自粛に伴い昨年度の活動を休止していましたが、みなさんの体力維持・フレイル予防も大切であることから、密を避けるために公共交通機関を使わず、近辺の歩きを中心に再開することにしました。昼食前に目的地で解散（各自任意に昼食をとることが可能な場所）とします。帰路は各自ですが、徒歩帰宅の案内はします。

また、今までの見守りウォーキングについては、散歩を主体に、ついでに見守りとして毎週月曜日に実施することにしました。

## 福祉のネットワーク永山とは

### ☆福祉のネットワーク永山の事業で新たな仲間づくりを！

福祉のネットワーク永山は、永山地区の各団体や住民同士が連携することで様々な地域課題に向き合い、取り組んでいます。皆さまのご参加お待ちしております！

### ☆福祉のネットワーク永山 今後の予定

- 定例会：奇数月第3土曜日 10時～12時 諏訪地区市民ホール
- 瓜生小地区防災組織担当者連絡会：偶数月第2土曜日など
- 永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会：偶数月第3土曜日
- まち歩き：毎月第2・最終火曜日 10時永山南公園集合  
（体調確認・マスク常時着用・三密回避にご協力ください）  
年会費 500円（行事保険料等）行き先は事務局へお問合せください
- 見守りウォーキング：毎週月曜日 15時30分集合  
瓜生地区：グルメシティ前（永山商店街内）  
永山地区：グリナード永山2F マクドナルド前
- 体操サロン：毎月第2水曜日 13時30分～15時30分  
東永山複合施設ボランティア会議室

▼定例会の様子



▲オンライン併用した定例会の様子

※新型コロナウイルス等の関係で、予定や場所などを変更する可能性があります。

## <ま・ち・か・ど>



グルメシティ北側の自販機横の花壇は、以前、カップ麺のカップや、たばこの吸い殻、空き缶などが散乱し、ゴミ捨て場化となっていた。

食料品を購入するスーパーでこのような光景は見たくないとの思いで、永山3丁目在住の木村公子さんが花壇の手入れを始めて約2年となる。勝手に触れば管理者にお叱りを受けるかと思いつつ手探りで始めた。当初は鉢植えを置いたのだが泥棒に会い、今は直植えとしている。また、グルメシティの関係者にも理解してもらい、今、咲いているパンジーは提供して頂いたものとの事。

まさにゴミ捨て場から花園へ

